

株式会社有隣堂 松信氏にご講演いただきました



松信氏による講演の様子



現在の書籍や出版業界についてお話しいただき、学びを深めました。



作家の方々からも読書の重要性についてお話しいただきました。



生徒たちは授業では聞けない貴重なお話に聞き入り、熱心にメモをとっていました。



笑いを交えて Youtube チャンネルをご紹介いただきました。



社会のなかでなりたいたい自分を見つけ、その姿に向かって楽しみながら努力する大切さをお話しいただきました。

～生徒のお礼と感想～

●今までの自分の考えでは、会社の目的は利益を出すことだけとしか考えがありませんでした。しかし、どの会社であっても「社会を良くすること」、「人を幸せにすること」を目的に経営していると分かりました。また、これから働いていく時に、自分がどのように社会に貢献したいかを考え、自分のしたいことを明確にすることが大切なのだということが分かりました。将来、実際に働く際に自分のしたいことを明確にし、働けるようにしたいと感じました。

●今回は講演をしてくださり、ありがとうございました。大人になるというのは自分で自分の人生を決めることだと何度も説明してくださり、自分で生きていくために必要な知識や力をアルバイトや大学での経験を大切にしていきたいと感じました。最後の方に能登地震で被害のあった富山の書店さんに足を運びお手伝いをした話を聞いて時に、有隣堂さんが運営しているお店でもないにも関わらず、早く再オープンをし、被災された方々の力になればと行動しているということに企業の役割との繋がりを感じました。また、本の存在は必要な知識や力だけでなく、想像力を養うことができる素晴らしいものだと感じました。横浜にいった際には、有隣堂に寄って気になった本を買ってみたいと思います。

●本日は貴重なお話をありがとうございました。有隣堂には本というイメージしかなかったけれど日比谷ミッドタウンなどの例をたくさん聞いてイメージがガラッと変わりました。お話を聞き、動画を見ていくうちに沢山の知識や情報をどんどんインプットしていくことがとても大切だと思いました。まずは自分の興味のあるものから本を読みたいと思いました。また、最後にあった1月1日の石川県の震災のお話に感動しました。ライバル会社ではあるけれど同じ目標を持っている会社同士で協力していてとても素敵だと思いました。

●有隣堂といえば「横浜駅にある大きい本屋」というおおまかなイメージしかありませんでした。しかし今回の公演を通して書店という時代的に難しい事業の中で、YouTubeチャンネルや日比谷の店舗やカフェとの同時経営など様々なことにチャレンジしている本屋さんだということを知りました。そしてなぜそこまでして書店を継続するのか。そこに書店としての意地、信念のようなものが感じられました。書店ではなくても会社それぞれには有隣堂のような意地、信念のようなものがあってそれぞれ働いているのだなと思い、数年後、社会に出るのに少し期待が持てました。そのためにも今はどのような職種で自分には何ができるのだろうと自分の頭で考えることから始めたいと思います。本日はとても有意義な講演会をありがとうございました。もっと本読んでみようと思います。

●本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。私は今回のお話を聞くまで有隣堂は本屋さんという認識しかありませんでした。しかし、今回のお話を聞いて、本だけでなくアパレルや雑貨・YouTube など様々なジャンルに挑戦しているということが分かりました。また、その中で新しい領域に足を踏み入れるということはどんなに良いものであっても、周囲からは良いイメージを持たれないこともあるという仕事をする上での厳しさも知りました。これから社会に出るにあたって大切なことや知っておくべきことなど、貴重なお話を聞かせていただき本当にありがとうございました。

●今回の講演は聞いていて非常にためになるものだと感じました。身近な本屋が本以外の事業にも取り組んでいたことを知り、驚きました。講演の中で松信社長が専務の時代に取り組んでいたミッドタウン内に新設したブースの話が特に頭に残りました。本がメインではないお店をオープンするにあたって相当な葛藤が自分の中にあったはずですが、自分が信じた人たちと最後までやり切るといった信念を持ちプロジェクトを完遂したのはとても素晴らしいと感じました。お話にもあった通り、反対意見等も多く寄せられ、自分の行動に迷いが生じるはずですが、それでも諦めなかったのは自分の中で目的と意味がしっかりとお持ちになっていたからやり通せたのかなと思いました。今日の講演を聞いた人が全員、起業したり、新しい事業に取り組むかは分かりませんが、それでも明確な目的と強い信念を持った人がやり遂げるのだなと自分なりに思いました。人生の一助となるお話をどうもありがとうございました。